

[団 体]

ふりがな 名 称	あさひかわし みどり かい 旭川市を緑にする会
所 在 地	北海道旭川市 6 条通 1 0 丁目旭川市第 3 庁舎
代 表 者	会長 村田 正一
功績の概要	<p>緑をつくり、育て守る活動を進めることを目指して昭和 4 8 年に結成されたが、現在では、緑を後世に引き継ぐ活動にも重点を置いている。</p> <p>公園・緑地等の地域住民の憩いの場や空港、動物園、道路並木等市民が利用する公的施設に記念植樹を行ったり、子どもたちに緑の大切さを知ってもらい、植樹をとおし緑を育て守る心を持ってもらうために、積極的に樹木支援を行い、これまでに 6 万 5 百本の樹木を植樹、支援し緑化推進に貢献した。</p> <p>また、民有地緑化の推進と普及・啓発活動として、「みどりの日」及び花フェスタ等のイベントで、現在までに、2 万本強の苗木の配布活動を実施している。</p> <p>他にも、市内に現存する都市の景観上重要なポイントとなる大木や地域で歴史的に由緒のある老木等の保護・保存活動を実施し、次世代に引き継ぐため小冊子を発行し、見学会を実施するなど保存普及活動に努めている。</p>

[団 体]

<p>ふ り が な 名 称</p>	<p>くろいそこうえんあいごかい 黒磯公園愛護会</p>
<p>所 在 地</p>	<p>栃木県那須塩原市弥生町7番9号</p>
<p>代 表 者</p>	<p>会長 阿部 ヒテ子</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同会は、昭和40年4月に発足し、現在に至るまでの約40年間にわたり、公園愛護の目的に賛同した公園近くの主婦達が、地道な活動を続け、市の緑化推進・美化運動の中心的役割を担っている。</p> <p>主な活動は、黒磯公園内の築山・花壇について、毎月定例的に除草・清掃活動を実施しているほか、スイセン、サルビア、ハボタン、パンジー等、季節の花々（700㎡）の植栽、築山（300㎡）のツツジやモミジの維持管理を行い、公園を訪れる市民や観光客の心に潤いを与えるとともに、那須塩原市の緑豊かなイメージの向上に貢献している。</p> <p>また、毎年、公園愛護の先進地を会員が視察し、花の配置方法や育成方法等を研究し、緑化技術の向上に努めている。</p> <p>このような活動により美しい公園が保たれ、多くの人々が訪れる公園を創出し、市民の緑化意識の普及啓発に寄与している。</p>

[団 体]

<p>ふ り が な 名 称</p>	<p>ざいだんほうじんひごのみずしげんあいごききん 財団法人肥後の水資源愛護基金</p>
<p>所 在 地</p>	<p>熊本県熊本市練兵町1番地</p>
<p>代 表 者</p>	<p>理事長 長野 吉彰</p>
<p>功績の概要</p>	<p>昭和62年にふるさとのかけがえのない地下水を枯渇と汚染から守ろうという本基金長野吉彰理事長（当時肥後銀行頭取）の提唱から、肥後銀行と熊本日新聞社の共催により、肥後の水資源愛護賞を創設し、県内各地で水資源のかん養、保全、水質汚染防止、節水などにつながる実践努力を続けている団体、個人を顕彰する事業を開始した。</p> <p>平成4年には事業のさらなる発展を目指して本基金を設立し、これまでに県内の222団体と11個人を顕彰しており、このうち、緑化に関しては、水資源のかん養や保全活動のために植樹などに取り組んでいる30団体を顕彰している。</p> <p>また本基金では、シンポジウム、新聞、テレビ番組等を通じての啓発活動やボランティア団体への助成など、毎年の顕彰事業のほかにもさまざまな事業を行っている。</p> <p>さらに、平成13年からこれまでに、本基金と肥後銀行は、南阿蘇村の国有林など約3haにクヌギやケヤキなど約8000本の苗木の植樹を行い、苗木の成長を助ける下草刈りも行っている。</p>

[団 体]

<p>ふ り が な 名 称</p>	<p>どきがわせいぶつけんきゅうかい 土器川生物研究会</p>
<p>住 所</p>	<p>香川県丸亀市城東町3丁目8番3号</p>
<p>代 表 者</p>	<p>会長 宮崎 武</p>
<p>功績の概要</p>	<p>土器川生物研究会は、平成5年より、土器川生物公園整備に関して、計画段階よりかかわり、清掃、樹木や水辺の植生等の植樹、下草刈り、養生等の植栽維持管理、魚類等の生物調査や生育環境の創生維持管理、ボランティアで野外授業等のイベントの計画・誘致・開催協力に努めてきた。</p> <p>その結果、同公園は多種多様な鳥や魚等の生物が生息する全国でも珍しい河川敷内の生物公園になっており、同会が積極的に参画協力する環境学習や各種イベントが多数開催されており自然環境保全や緑化思想の啓発に貢献している。</p> <p>また、市内河川、ため池及び丸亀城内濠において、緑化清掃を中心に身近な植物等の調査、観察、保全緑化活動を通じて、会員の資質向上を図り、環境保全の心を養う行事緑化啓発活動等に役立てている。</p> <p>県が主催する中学生対象の行事を同公園で実施するよう要請し、会員が通常行っている公園内の清掃・緑化活動等、身近な植物生物観察を通じて、自然とのふれあい環境学習や緑化普及啓発に多大な協力を行っている。</p>

[団 体]

<p>ふ り が な 名 称</p>	<p>なかむらろうじん 中村老人クラブ</p>
<p>所 在 地</p>	<p>兵庫県神崎郡神河町中村 2 3 2 番地</p>
<p>代 表 者</p>	<p>会長 井上 秀男</p>
<p>功績の概要</p>	<p>中村老人クラブは、兵庫県神河町を南北に走る国道 3 1 2 号、東西に走る主要地方道加美宍粟線を中心に道路清掃・植樹帯の手入れ・除草及び路肩の草花の植栽などを昭和 6 1 年以降から継続して行い、地域的美観を高めるとともに通行者の心を和ませている。</p> <p>作業従事年数は 2 0 年を超え、作業日数は月 1 回の定期作業に加えて年 5 回の臨時作業を実施している。</p> <p>1 回あたりの作業従事人数は定期が 8 0 人、臨時が 2 0 人で、作業延長は沿道 1 , 2 0 0 m となっている。</p> <p>平成 6 年度兵庫県知事感謝賞、平成 1 1 年度道路ふれあい月間建設大臣表彰を受賞し、その後も継続して活動していることにより、地域の住民のみならず、他地域の人々にも、美しいまちづくり、道路愛護等の精神を広めている。</p>

[団 体]

<p>ふ り が な 名 称</p>	<p>みさかしょうがっこうこうつうあんぜんはは かいなかみさかぶんかい 三阪小学校交通安全母の会中三坂分会</p>
<p>所 在 地</p>	<p>福島県いわき市三和町中三坂字白石 3 9</p>
<p>代 表 者</p>	<p>秋山 春江</p>
<p>功績の概要</p>	<p>三阪小学校交通安全母の会中三坂分会は、地域の小学校に通学する児童を持つ母親の会であり、交通安全活動の他に、いわき市三和町中三坂地内の一般国道49号沿道において、多年にわたり定期的に草花の植栽と除草を実施し、同時に、歩道や法面の空缶やゴミを拾うなどの清掃活動も行っているところである。</p> <p>作業従事年数は25年を超え、年間の作業日数は冬期間を除いて8回となっている。</p> <p>1回あたりの作業従事人数は当地域の婦人消防隊からの有志の参加も得て20～30人で、作業延長は沿道110mとなっている。</p> <p>平成10年度第9回みどりの愛護功労者国土交通大臣表彰、平成13年度国土交通大臣道路ふれあい月間表彰を受賞し、その後も活動を継続して、母親らしい気配りとやさしきで、交通安全や地域の安全を見守りながら、道路の美化・保全と道路愛護精神の普及に努めているものである。</p>

[団 体]

<p>ふ り が な 名 称</p>	<p>めいじょうすいとちかいりょうく 明治用水土地改良区</p>
<p>所 在 地</p>	<p>愛知県安城市大東町22番16号</p>
<p>代 表 者</p>	<p>理事長 神谷 金衛</p>
<p>功績の概要</p>	<p>明治用水土地改良区は、矢作川水系5ヶ所で524haの水源かん養林を管理し、緑化に努めている。</p> <p>同改良区は、管理水路のパイプライン化に伴い水路上部の用地を利用して緑地帯を設置する事業を推進し、緑地帯の清掃作業による環境美化PR活動を実施するなど、地域の緑化意識の高揚に努めている。</p> <p>また、同改良区は明治用水を学校に引き込んだ「緑の学校づくり」の支援など、良好な風景の形成にも貢献している。</p> <p>同改良区は、緑化・美化活動を通じて、子どもたちに水と緑の大切さや重要性を知る機会を与えるだけでなく、魚つかみ、水生植物の観察など自然と触れ合う楽しさを教え、緑化意識の高揚と緑化思想の普及啓発に大きな成果を上げている。</p> <p>なお、「明治用水土地改良区女性部」は、水源かん養林研修など独自に緑化推進活動に取り組んでいる。</p> <p>水源かん養林研修で、流域住民が森林づくりを実体験し、「矢作川の流水源は森林にある」ことを認識することにより、森林保護意識の高揚と緑化思想の普及啓発が促進されている。</p>

[学 校]

<p>ふ り が な 名 称</p>	<p>しずくいしちようりつおみようじんしょうがっこう 雫石町立御明神小学校</p>
<p>所 在 地</p>	<p>岩手県岩手郡雫石町上野上屋敷26番地</p>
<p>代 表 者</p>	<p>校長 加藤 兼弥</p>
<p>功績の概要</p>	<p>本校では、平成4年頃から学区内を流れる竜川(雫石川)の河川敷や河川公園の清掃を全校児童とPTAが一緒になって実施している。</p> <p>平成8年の「海の日」制定からは、祝日に合わせて親子で活動に取り組み、町内の雫石中学校や雫石高等学校、雫石漁協にも声をかけ、地域が一体となって流域の緑や自然環境を守ろうと活動している。</p> <p>また、平成10年からは「緑の少年団」を結成し、竜川(雫石川)上流部にある学校林への植林や下草刈りの体験学習を継続して実施し、水源地の自然環境保護や町の天然記念物チョウセンアカシジミの保護活動として、食樹であるデワノトネリコの植樹にも積極的に取り組んでいる。</p> <p>平成15年「緑の愛護」功労者国土交通大臣表彰を受賞した後も、御明神地区の小・中学生と高校生、PTAによる竜川(雫石川)の河川敷清掃を継続するとともに、新生「雫石町」50周年を記念した植樹祭への参加、「森と湖に親しむ旬間」行事の一環である清掃活動への参加、学校の創立130周年を祝う学校林への杉の苗の植樹を実施するなど、地域緑化の推進に努めている。</p>